

(19) 日本国特許庁 (J P)

(12) 公開特許公報 (A)

(11) 特許出願公開番号

特開2000-134406

(P2000-134406A)

(43) 公開日 平成12年5月12日 (2000.5.12)

(51) Int.Cl. <sup>7</sup>	識別記号	F I	テーマコード (参考)
H 0 4 N 1/00	1 0 7	H 0 4 N 1/00	1 0 7 Z 5 C 0 6 2 C 5 D 1 0 8
G 1 0 K 15/04	3 0 2	G 1 0 K 15/04	3 0 2 F 5 K 0 3 0
H 0 4 L 12/54		H 0 4 M 11/08	5 K 1 0 1
12/58		H 0 4 L 11/20	1 0 1 B

審査請求 未請求 請求項の数 4 O L (全 4 頁) 最終頁に続く

(21) 出願番号 特願平10-308176

(22) 出願日 平成10年10月29日 (1998. 10. 29)

(71) 出願人 00000:821

松下電器産業株式会社

大阪府門真市大字門真1006番地

(72) 発明者 澤村 謙二

大阪府門真市大字門真1006番地 松下電器  
産業株式会社内

(72) 発明者 高津城 邦夫

大阪府門真市大字門真1006番地 松下電器  
産業株式会社内

(74) 代理人 10009/445

弁理士 岩橋 文雄 (外2名)

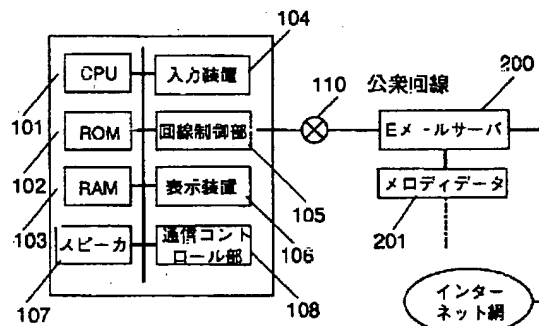
最終頁に続く

(54) 【発明の名称】 ファクシミリ装置およびEメールサーバ

(57) 【要約】

【課題】 ファクシミリ装置において多種類のメロディを使用するには、メロディデータを記憶する大きなメモリが必要となる。本発明は、ファクシミリ本体に膨大なメモリを持たずに多種類のメロディパターンが使用できるファクシミリ装置およびEメールサーバを提供することにある。

【解決手段】 インターネット網に接続されたEメールサーバ200に公衆回線にて接続されたファクシミリ装置において、サーバに記憶されたメロディデータをサーバからダウンロードさせる手段、またダウンロードされたメロディデータを記憶させる手段、ダウンロードされたメロディデータを選択する手段から構成され、メロディ選択を簡単・確実に行う事ができ、好みにあったメロディパターンのデータのみをダウンロードして使用することができる。



BEST AVAILABLE COPY

## 【特許請求の範囲】

【請求項1】インターネット網に接続されたEメールサーバに公衆回線にて接続されたファクシミリ装置において、上記ファクシミリのメロディパターンを上記Eメールサーバからダウンロードできる事を特徴としたファクシミリ装置。

【請求項2】Eメールサーバからダウンロードしたメロディパターンから、上記ファクシミリ装置の着信ベル、保留メロディ等を選択して使用できる機能を有する請求項1記載のファクシミリ装置。

【請求項3】インターネット網に接続されたEメールサーバに公衆回線にて接続されたファクシミリ装置において、データ等を蓄積するための記憶部と、各種操作に使用する入力装置と、電話回線に接続するための回線制御部と、各種機能を指示するための機能ボタンと、スピーカとを備え、使用者が前記機能ボタンを操作した上でメロディダウンロード機能を選択すると、公衆回線にてダイヤル発呼を行なってEメールサーバに接続し、使用者がメロディデータの種類を選択するとEメールサーバに対してダウンロードを依頼し、Eメールサーバから送信されてきたメロディデータを前記記憶部に蓄積するとともに前記スピーカによって再生し、使用者による確認の指示によってその時のメロディデータを使用するように設定する制御手段を備えた事を特徴とするファクシミリ装置。

【請求項4】インターネット網と公衆回線に接続され、複数のメロディデータを蓄積する記憶装置に接続され、ファクシミリ装置からの依頼に応じてメロディデータを公衆回線を介してファクシミリ装置へ送信することを特徴とするEメールサーバ。

## 【発明の詳細な説明】

## 【0001】

【発明の属する技術分野】本発明は、Eメールの機能を有するファクシミリ装置およびEメールサーバに関するものである。

## 【0002】

【従来の技術】ファクシミリ装置で使用されるメロディには、着信ベル、保留メロディ等々の多機能のメロディが使用されている。このメロディを機能別に多種類のメロディパターンをファクシミリ本体に記憶させるためには、膨大なメモリが必要となり、低価格化のファクシミリで実現するには非常に困難である。

【0003】また最近では、Eメール機能の利便性が評価され、Eメール機能を使用する企業が増えてきている。使用に関して一般的にはパソコンが使用されているが、インターネット網に接続されたEメールサーバの機能を使用し、ファクシミリ装置からEメールサーバを介してインターネット上で画像情報を送ることも考えられている。またEメールサーバはファクシミリ装置からの依頼によって単に画像情報を送るだけでなく、種々の情

報を提供することも可能となる。

## 【0004】

【発明が解決しようとする課題】ファクシミリ装置において多種類のメロディを使用するには、ファクシミリ本体に上記メロディデータを記憶する大きなメモリが必要となる。固定のメロディパターンの場合、選択できるメロディにも数が制限され、使用者は好ましくないメロディでも使用しなければならないという問題点があった。

【0005】本発明は、ファクシミリ本体に膨大なメモリを持たずに多種類のメロディパターンが使用できるファクシミリ装置を提供することにある。

## 【0006】

【課題を解決するための手段】本発明は上記従来の課題を解決するために、多種類のメロディデータをEメールサーバに記憶させ、使用者の好みのメロディを必要に応じて上記ファクシミリにダウンロードさせる事により、小さな記憶メモリしか持たないファクシミリで多種類のメロディパターンを使用できる様にしたものである。ファクシミリ装置において、サーバに記憶されたメロディデータをサーバからダウンロードさせる手段、またダウンロードするメロディデータを記憶させる手段、ダウンロードデータされたメロディデータを選択する手段を設ける。

## 【0007】

【発明の実施の形態】本発明の請求項1に記載の発明は、インターネット網に接続されたEメールサーバに公衆回線にて接続されたファクシミリ装置において、メロディパターンを上記Eメールサーバからダウンロードできる事を特徴としたファクシミリ装置であり、多種類のメロディデータより使用者の好みのメロディを選んで使用することが出来る。

【0008】また本発明の請求項4に記載の発明は、インターネット網と公衆回線に接続され、複数のメロディデータを蓄積する記憶装置に接続され、ファクシミリ装置からの依頼に応じてメロディデータを公衆回線を介してファクシミリ装置へ送信することを特徴とするEメールサーバであり、多種類のメロディデータより使用者の好みに応じて供給することが出来る。

【0009】（実施の形態1）図1において、101はファクシミリ装置を制御するためのCPU、102はプログラム及びメロディデータが格納されているROM、103はデータ等を蓄積するためのRAMである。104は各種操作に使用する入力装置である。105は電話回線に接続するための回線制御部、106は表示装置、107はスピーカである。108は端末とEメールサーバ間のデータのやり取りを制御する通信コントロール部である。

【0010】200はEメールサーバ、201はEメールサーバのメロディデータを蓄積している記憶装置で、着信ベルや保留メロディなどさまざまなメロディデータ

を蓄積している。Eメールサーバ200は110公衆回線で接続されている。

【0011】図2は入力装置104の一例を示す。109は機能拡張ボタン、111はEメール機能を指示するためのEメールボタン、112はドメインボタン、113は送信開始を指示するための送信ボタンである。

【0012】例えば、着信ベルをダウンロードする時のフローチャートを図3に示す。以下図3に示したフローチャートを元に説明する。まず使用者は、図2に示した「機能拡張」ボタン109を押下して機能拡張を指示する(ステップ500)。本発明のファクシミリ装置は、公衆回線にてダイヤル発呼を行いサーバに接続し、サーバは接続を完了したら端末に応答を返す。使用者は、表示装置106に表示される機能拡張の項目の中から、入力装置104を用いてメロディダウンロードの項目を選択し(ステップ501)、次に、着信ベル、保留メロディなどの項目の中から、入力装置104を用いてメロディデータの種類の選択をする(ステップ502)。例えば着信ベルのダウンロードを選択する。

【0013】次に入力装置104を使用してサーバのメロディデータ201よりダウンロードしたいメロディデータ201を選択し(ステップ503)、ファクシミリ装置はサーバに対してダウンロードを依頼する。それに従ってサーバはメロディデータ201をファクシミリ装置へ送信し、ファクシミリ装置はそのデータをRAM103にメロディデータ201を蓄積し、同時にスピーカ107によって再生される。正常にダウンロードできたらOKの応答を返す。

【0014】使用者はサーバからダウンロードした着信ベルの試聴を、スピーカ107にて行い(ステップ504)、確認「OK」のときは着信音にダウンロードしたメロディデータが設定される、「NO」のときは、ステップ503に戻る。

【0015】以上では着信ベルのダウンロードの例を示したが、保留メロディなど、その他のメロディも同様の方法でダウンロードすることができる。また、ダウンロードし、RAM103に蓄積されているメロディデータ

と、あらかじめROM102に格納されているメロディデータとの選択も可能とする。また、この一連の端末とサーバのデータの送受信は通信コントロール部108にて制御を行い、DTMF信号を使用して行われる。

【0016】この例では、表示装置106に表示される項目を入力装置104により選択する方式をとったが、音声ガイドに従って選択する方法なども可能である。

【0017】以上実施の形態を示したが、入力装置の種類(例えば音声入力)、記憶装置の種類(例えばフラッシュROM)は問わない。

【0018】

【発明の効果】以上説明したように本発明によれば、ファクシミリ本体に小さな記憶メモリだけで多種のメロディパターンの使用可能となり、使用者も拡張性に富んだサービスを受けることができる。

【0019】また、使用者はサーバのメロディパターンを意識する必要もなく、サーバからのメロディデータのダウンロード時にも、使用者は複雑な操作を必要としないなど、操作手順が簡単で、サーバへの接続が確実に行えるファクシミリ装置が提供できるという効果がある。

【図面の簡単な説明】

【図1】本発明の実施の形態1のファクシミリ装置を用いたシステム構成図

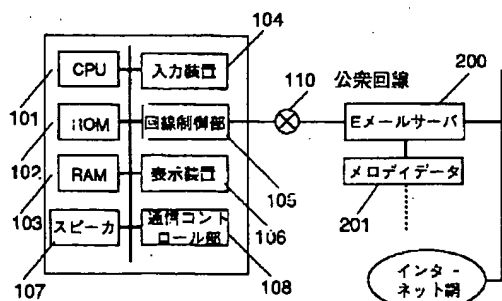
【図2】本発明の実施の形態1のファクシミリ装置に用いた入力装置の一例を示す図

【図3】同ファクシミリ装置の操作フローチャート

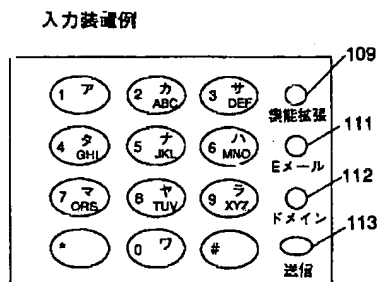
【符号の説明】

101 CPU  
102 ROM  
103 RAM  
104 入力装置  
105 回線制御部  
106 表示装置  
107 スピーカ  
110 公衆回線  
200 Eメールサーバ  
201 メロディデータ

【図1】

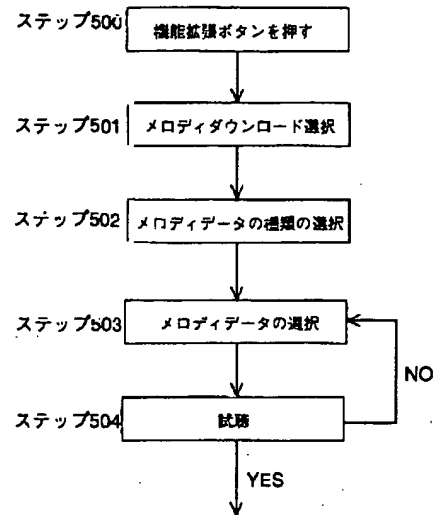


【図2】



【図3】

フローチャート例



フロントページの続き

(51)Int.Cl.<sup>7</sup>  
H 0 4 M 11/08

識別記号

F I

(参考)

(72)発明者 池口 佳徳  
大阪府門真市大字門真1006番地 松下電器  
産業株式会社内  
(72)発明者 広木 晋也  
大阪府門真市大字門真1006番地 松下電器  
産業株式会社内

Fターム(参考) 5C062 AA01 AA02 AA29 AB20 AB26  
AB38 AC41 AE11 BA00  
5D108 CA04 CA07 CA15 CA29  
5K030 GA05 GA17 HA06 HB01 HC01  
JT05 KA01 KA06 KA08 LB02  
5K101 KK01 KK02 MM04 MM05 MM07  
NN02 NN25 NN36 RR12 TT02

BEST AVAILABLE COPY